

「さわやか西中 あこがれの自分を求めて」

平成28年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成28年8月26日(金)発行 第 19 号 発行責任者:高橋 弘悦

有志会社

「西中ほのぼの工房」始動

7月4日、西山中学校生徒による会社「西中ほのぼの工房」が組織されましたが、2学期がスタートした8月25日、早速企画品の製作、商品化の活動が始まりました。

「西中ほのぼの工房」は、大きく企画、宣伝、制作、販売部門に分かれ、それぞれの部門が利益追求の

ために知恵を絞ります。2学期最初の総合学習となった6時間目には、それぞれの部門に分かれて積極的なアイデアの交換がなされていました。

アントレプレナーシップ育成教育のねらいとして、問題発見能力、チームワーク力、自己評価力、企画力、リサーチ力、(情報収集・分析能力)、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、チャレンジ精神などの育成をあげていますが、生徒の意欲的な活動を見ていると、これらの力が着実に育っていることを感じることができました。

「西中ほのぼの工房」では、当面の目標として9月17日の「西山温泉まつり」での新製品の販売を目指しています。皆さんの応援をよろしくお願いいたします。



奥会津オープンセミナーに参加して

西山中生は、夏休み中に全員が奥会津オープンセミナー、ふれあいの翼海外派遣研修の2つの行事にそれぞれ参加することができ、国際的な感覚を磨く体験をすることができました。これから3回に分けて、生徒の感想を掲載していきます。今回は、1年生の4名から…

渡部 美空

7月30日に奥会津オープンセミナーがありました。

まず、名刺交換をしました。アメリカの大学生がたくさんいて、誰に渡そうか迷ってしまいました。無事渡せてよかったです。

次に、アメリカの大学生の発表を聴きました。勉強の仕方まで教えてくれました。何時間も勉強しているみたいで、すごいなあと思いました。最後に私たちが柳津について発表しました。発表が終わったあとに、質問が飛びかかって驚きました。自分に質問されたときは、難しい質問だったので動揺してしまいました。

とてもいい話が聞けたし、発表もうまく行ってよかったです。



渡部 寿々帆

私は、今回奥会津オープンセミナーに参加して、外国の人たちと交流を深めることができました。名刺を交換するときに、できるだけ英語を使おうと心がけました。通じたみたいなのでうれしかったです。

外国の人からも、他の参加者からもたくさんのよい話を聞きました。あるアメリカの大学生は、将来ハワイでステーキ屋さん開きたいそうです。「ハワイに来たら食べさせてあげる」といわれたので、ぜひ行ってみたいと思います。



渡部 未蘭

今回の奥会津オープンセミナーに参加して、普段交流がない外国の方とたくさんお話しができて、よい体験になりました。

アメリカの大学では宿題があり、1週間で分厚い本を何冊も読まなければならないと聞きました。1日10時間ぐらい勉強するそうです。日本の大学生はあまり勉強しているとは聞いたことがなかったので、日本とは違うなあと思いました。とても楽しかったので、またやりたいです。

金子 花

外国の方の英語を聞いて、やっぱり生の英語は違うなあと思いました。英語は習い始めたばかりですが、それでも少し聞き取れたり、私たちの英語が通じたと感じたときはとてもうれしかったです。

西山中学校の「ひストラップ」の話では、「アメリカで売ってあげる」といわれました。興味を持っていただいたみたいなのでうれしかったです。先輩たちがはじめた「ひストラップ」はやはりすごいことなんだと思いました。

私は英語が好きでしたが、この経験でまた好きになりました。これからも英語の勉強をしっかりと、英語を話せるようになりたいです。

